

# ミサゴ便り

平成13年3月10日発行

このミサゴ便りも今年で4年目を迎えました。滝田一郎氏の指導のもと弓削野鳥の会もメンバーが増え、会員それぞれが独自の活動をされています。今後とも公民館主催のバードウォッチングとともに地道に活動していきたいと思しますので、会員の皆様のご支援ご協力のほどよろしく申し上げます。

滝田氏もふるさと岩手県にてご活躍されています。先日、近況を綴る便りが届きましたので次頁にてご紹介いたします。🐦

## お知らせ（日本野鳥の会より）

このたび、日本野鳥の会より「声が聞こえる野鳥図鑑」が発売されました。鳥の姿と声を同時に参照でき、野外で便利な手のひらサイズ、全200種類掲載で内容も充実しています。紙に印刷されたドット状のコードをなぞるだけで、音声簡単に再生できます。

ご希望の方があれば、事務局まで連絡ください。(77-3607まで)

スキャントークリーダー 8,000円

野鳥図鑑 1,600円(税別)

## 「東北からの鳥便り」

滝田一郎

皆さん、お元気でしょうか。私も元気に雪の中、ごそごとと鳥を見て回っています。今年は寒さも厳しく、鳥たちも大変そうです。ところで、皆さんは日本でもっとも多くガンカモ類が渡来してくる伊豆沼をご存知でしょうか。行ったことが在る方はいらっしやらないかも知れませんが、その伊豆沼が実は私の家から車で30分のところにあります。大体、下弓削位の広さがあり、結構大きな沼ですが、何と今年は全面結氷してしまいました。さあ困ったのは鳥たちです。ガンカモ類は、夜、天敵のキツネから逃れるために沼の中ほどで寝るのですが、凍ってしまうとその逃げる場所がなくなってしまうのですね。少し話しは変わりますが、私の住んでいるあたりは、まだまだ自然がいっぱいで、キツネやタヌキ、リスにテン、ツキノワグマやニホンカモシカまで住んでいます。閑話休題。その沼が凍ったため、私の住んでいる町までかなりの数が逃げてきました。町には凍らない川がありますから…。おかげで白鳥を見るにはまったく困らない環境です。この間は、350羽くらいいました。伊豆沼の白鳥は2万近くいるそうです。大方は仙台方向へ南下したのですが、一部がこの町まで逃げてきたのです。あとはノスリ、弓削ではパラパラと見ることができたタカですが、

町内で15羽ぐらい越冬しています。他にもミサゴ、オオタカ、ハイタカ、オジロワシ（これはでかい!）、ハヤブサ、コチョウゲンボウにハイイロチュウヒと猛禽類もたくさんいます。また今年は東北では大変珍しく、アトリの大きな群にノスリがアタックをかける姿とか観察できます。ノスリは普段ネズミなどを取るんですが、この雪でネズミもなかなか見つからないようです。

さて、私の近況もお知らせしましょう。普段は隣市の一関市立一関公民館というところで、公民館指導員（非常勤）ということをやっています。どういうことをやっているかというと、私の場合は、青少年教育担当ですので、子供達に体験学習とか自然観察などを指導しています。他にも環境省登録の環境カウンセラーということもやっていますので、他の自治体から環境関係の講師の依頼もあれば、体験学習の指導だったり、地球環境問題、ゴミ処理などの講演もやっています。また、小中学校では「総合的な学習の時間」というのもはじまり、こちらでも呼ばれて教壇に立ったりと、何かと忙しい日々を過ごしています。

まず、近況はこんなところですよ。今年も弓削に行く予定（たぶん夏）ですので、そのとき、また、皆さんにお会いしたいと思います。では、また。（滝田氏の携帯番号 090-2997-2007）

## 新刊紹介

「子どもとの自然観察スーパーガイド」

日高哲二 著

自然の中で子供達が遊ばなくなったこと、今子供の世界の中で起こっている様々な問題との間に関係があるのでは、子供時代に、自然を相手にいろんな経験をすることが大切である。…

(築地書館刊)

### 【 弓削でのバードウォッチングガイド 】

2月の中旬頃 …

引野から上弓削への海岸線でオオハム(カルガモより大きく冬羽は上面が黒っぽい)、また、久司浦の入口付近の海岸線ではカンムリカイツブリを観察しました。(情報提供、山田次郎氏)

3月の初旬頃 …

日比、久司山付近で、アオジ観察しました。道路端で餌を探していました。(情報提供、M氏)

※ 野鳥観察のどんな情報でも構いませんからお寄せください。

(TEL 77-3607まで)